

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年9月27日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年9月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【5号機常用電気室へのケーブル洞道溜り水の流入について】 5号機常用電気室へケーブル洞道の溜り水が流入していることを確認。 これにより点検のために仮置きしていたしゃ断器および接地用変圧器が被水。 5号機常用電気室への流入水を排水設備へ導く処置を実施。 今後、被水した機器の点検およびケーブル洞道の溜り水対策を実施予定。</p>	GIII
2	<p>【66kV開閉所補助建屋空調機の漏水警報の発生について】 66kV開閉所補助建屋空調機の漏水警報が発生。 調査の結果、空調機上部での作業中に作業者の汗が検知器に滴下し、漏水警報が発生したと推定。</p>	GIII
3	<p>【3号機原子炉建屋トラス室の滞留水水位計における指示変動について】 3号機原子炉建屋トラス室の滞留水水位計において、一時的な指示変動が発生することを確認。 調査の結果、4号機の油回収ポンプ運転時のインバーターによるノイズと判明。</p>	GIII